



● 地域経済活性化特別枠

草の根技術協力（地域経済活性化特別枠）事業概要

I. 提案事業の概要	
1. 国名	タイ、マレーシア
2. 事業名	北海道フード特区・フードバレーとかけ 海外支援を兼ねた東南アジア食産業人材育成
3. 事業の背景と必要性	中国市場の成長などアジア圏での域内貿易の拡大により、地域産業の活性化にむけた地域ブランド力の発信が求められる。十勝・帯広の地場企業・大学が有する技術・経験を途上国に展開し、途上国の環境問題や食の安全・安心の向上に貢献する。また食品業界・流通関係者を対象者とすることにより、十勝・帯広の経済団体及び自治体による地場企業の海外展開が促進され、海外需要の取り組みによる地域活性化が期待される。
4. プロジェクト目標	安心安全の地域ブランドが理解され、食の付加価値化への取り組みなど食産業振興に寄与する。企業を含む食産業関係者のネットワークを形成し、相互交流につながる基盤を整備する。輸出国の規制やハラールへの理解を進め製品開発に向けた課題を整理する。
5. 対象地域	バンコク、クアラルンプール
6. 受益者層 (人数規模)	食品業界・流通関係者（100名）
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食の安心安全・付加価値化による地域振興策の普及 2. 食の付加価値化技術の普及 3. 食のブランドイメージの普及 4. ハラールに対する取り組み <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1、2-1、3-1 食の安心安全・付加価値化を学ぶ研修（研修員の受入） 2-2、3-2 現地セミナー、試食・懇談会（業務従事者の派遣） 2-3、3-3、4-1 現地での付加価値化技術普及（業務従事者の派遣） 4-2 ハラールに関する現地調査（業務従事者の派遣） 4-3 日本でのハラール対応セミナー・調査報告会
8. 実施期間	2014年3月から2016年3月
9. 事業費概算額	15,673千円
10. 事業の実施体制	<p><日本側></p> <p>実施機関：帯広商工会議所、協力機関：帯広畜産大学、十勝地区農業協同組合、とち財団（十勝圏地域食品加工技術センター）、帯広市</p> <p><実施国側></p> <p>カウンターパート：SMECorp、協力機関：マレーシア国際商工会議所、マレーシア食品玩具販売者協会、ハラール開発公社</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名 (提案自治体)	帯広商工会議所 (帯広市)
2. 対象国との関係、協力実績	特になし